



対談

石井まさひろ × 小長 啓一
(一財)産業人材研修センター
理事長

当時、通商産業省にて通産大臣秘書官
 総理大臣秘書官として田中角榮氏を支えた
 小長啓一先生をお招きし
 「地方を、岡山を熱くする。」をテーマに
 対談させていただきました。

田中角榮先生の時代から紐解く これからの地方創生政策。

石井 昨年1月、私の政経セミナーにおきまして、小長先生から「田中角榮先生に見るリーダーの資格と生き様」と題して大変意義深いご講演を頂戴いたしました。日本を取り巻く経済や物価上昇などの課題に対し、政治に大きな期待が寄せられる今、小長先生より今後についてリーダー論も踏まえたご見解をお伺いできればと思います。

小長 確かに今は混沌とした時代で、翻ってみますと50年前の第一次石油危機に直面した田中内閣と同じ状況です。田中さんは石油需給と国民生活の安定に向けた二つの法律を緊急立法し、ひと月で衆参両院の審議を経て成立させる大変な離れ技を行うと同時に、主要な資源国を全部回って資源外交をした。また原子力政策を進めて電力の安定供給に貢献するなど、緊急時の対策、中長期的な政策にピシッと手を打っていかれた。政治家としての構想力、決断力、実行力、最後は人間力というものを随所に垣間見た感がありました。

石井 田中角榮先生の強いリーダーシップは、今の日本を取り巻く諸情勢の中で、大いに参考にしながら取り組んでいかなければいけないと改めて痛感しました。さらに最近になって、「日本列島改造論」の考え方が再び注目をされているように感じています。行き過ぎた東京一極集中を是正しながら地方に光を当て、地方がもっと元気になることによって、日本国全体、そして地方在住の方も安心して働き生活できる社会を作っていかなければなりません。地方を元気にしていくための大きな政策の一つが、大都会に向かう若い人の流れを地方に向けるために就業の場・雇用の場を作り、そしてそこに落ち着いて生活できるようにすることです。この新たな地方創生政策をもっと力強く進めていくべきだと私は考えています。

小長 おっしゃる通りです。「日本列島改造論」の基本的なコンセプトは過疎・過密の同時解消です。東京への人・物・カネ・情報の流れを

小長 啓一氏
 1930年岡山県生まれ。岡山大学法文学部卒業。通商産業省(現:経済産業省)に入省。通産大臣秘書官、総理大臣秘書官として田中角榮氏を支える。通商産業事務次官、アラビア石油(株)取締役社長、AOCホールディングス(株)取締役社長を経て、(一財)産業人材研修センター理事長、島田法律事務所客員弁護士。

一挙に変えて、地方への流れにしようという考え方ですが、必ずしも実現されていません。むしろ田中さんの思いをもう一度思い起こし、その流れを加速しようということだと私は判断しています。

石井 今は情報通信の時代ですから、次世代のBeyond 5G (6G)の導入に向けて地方もより早く整備を進め、企業・工場の再配置をさらに地方で推し進めていくことが政策テーマになると考えます。今回の経済対策の規制緩和と調整区域の土地利用の柔軟化を行うことになりましたが、こういった日本列島改造論の考え方の原点をもう一度見つめ直し、参考にしながら政策づくりをしていきたいと思えます。

小長 まさにそうですね。これからはDX・GXといった新しい分野が日本に育つ必要があります。その注目の場所として、岡山は大変恵まれた立地条件にあるのではないのでしょうか。さらに海外に進出した企業の国内帰郷の現象も起きていますから、企業の工場の受け皿としても岡山をPRしていただければと期待しています。

石井 今の小長先生の思いにまったく同感です。これからの未来を牽引していく分野には半導体、バイオや蓄電池などもありますから、国政や地方行政とタイアップし、一つでも多くの企業の再配置が岡山に立地していただけるように最善の努力をしてみたいと思えます。

また、岡山は今、文化・スポーツも大変元気で、スポーツで全国制覇する学校もあり、素晴らしい文化人、アスリートもたくさんおられることも岡山の一つの特色だと思います。子育てもしやすい岡山をアピールし、地方、そして岡山をもっともっと熱くしていくためにさらに精進努力いたします。小長先生には引き続き、応援・支援していただければ嬉しく思います。本日は大変お忙しい中、ありがとうございました。

小長 こちらこそ、ありがとうございました。



晴れ晴れ ONLINE

石井まさひろ後援会報
晴れ晴れオンラインVol.31

前誠実に
向きに!



地方を、熱くする

参議院議員

石井まさひろ

参議院本会議での質疑
(2023年5月10日)

ごあいさつ

2023年は、ようやくコロナ禍を乗り越え、人々の暮らしや仕事がどうか元に戻りつつあることを実感できた一年でありました。コロナはまだ予断を許さない状況ではあるものの、次第に落ち着きつつあります。医療従事者の皆様など関係各位のご努力あってのことと感謝申し上げます。

そうした中、2024年がスタートしました。岸田内閣が推進する経済政策をしっかり推進し、国民の皆様一人一人が実感できる暮らしやすさの向上を実現していかなければなりません。私は現在、参議院経済産業委員会、同情報監視審査会並びに参議院改革協議会選挙制度専門委員会の各委員を拝命するとともに参議院自民党政務調査会副会長、自民党政務調査会副会長並びに同税制調査会幹事に任命されております。まさに、経済課題の政策の立案と実行に向けて、毎日、懸命に取り組んでいるところです。

さて、足下では、物価高が続く一方、それに見合う賃金上昇はまだまだ途上です。こども・子育て政策も待たなし。併せて、税制改革の課題もあります。目を外に転じれば、ロシアによるウクライナ侵略、イスラエル・パレスチナ情勢などの見通しも不透明なままです。文字通り課題は山積していますが、ひるむことなく、私たちは立ち向かって行かなければなりません。また、この度明らかになった我が党の不祥事による政治不信に対処するため、皆様方の声を真摯に受け止めながら政治改革もしっかりと成し遂げなければなりません。

未来はかならず良くなる!良くしていく! そのような強い意志を持って、私は政治に取り組んでいくことをお誓い申し上げます。引き続き、皆様の応援を賜れば幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

石井正弘

自由民主党 岡山県参議院選挙区第一支部
石井まさひろ事務所 [E-mail] info@ishii-masahiro.jp

岡山事務所 〒700-0824 岡山市北区内山下1丁目9番15号
 TEL.086-233-6600 FAX.086-233-7770

国会事務所 〒100-8962 東京都千代田区永田町2丁目1番1号 参議院議員会館1214号室
 TEL.03-6550-1214 (直通) FAX.03-6551-1214
 TEL.03-3581-3111 (代表)

メルマガ会員募集中!!

詳細は、ホームページをご覧ください。
<https://ishii-masahiro.jp>

石井正弘 公式Facebook
<https://www.facebook.com/masahiro.ishii.3511>

もっと地方を元気に。
もっと岡山に笑顔を。

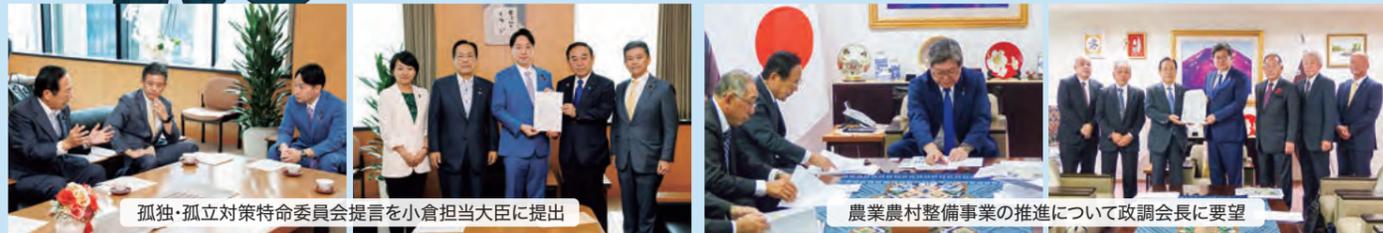
地方創生
第二幕へ

東京での議員活動



GX脱炭素電源法案質疑・岸田総理の答弁

参議院経済産業委員会質疑・経済産業大臣の答弁



孤独・孤立対策特命委員会提言を小倉担当大臣に提出

農業農村整備事業の推進について政調会長に要望



税制調査会正副・顧問・幹事会議

実効的な被害者救済法案を
自公三党で国会に提出

情報監視審査委員会に選任
議長、副議長の前で宣誓書を提出

日本原子力発電東海発電所・
東海第二発電所視察



水島港国際貿易協定会要望

JA岡山県青年部協議会要望

小倉新庄村長を招いて
「小さな村g7サミット」について懇談

東京開催のおかやま矢掛マルシェを訪問

「石井まさひろ君を激励する会」を開催 (2023.11.08)



世耕 弘成
参議院自民党幹事長

加藤 勝信
前厚生労働大臣

自見 はなこ
内閣府特命担当大臣

増田 寛也
元総務大臣

地元岡山の物産コーナー

地元岡山の皆様とともに



小田川合流点付替え通水式

一般国道180号岡山西バイパス(西長瀬~備津) 起工式

岸田総理岡山県奈義町視察同行

日本原駐屯地創設58周年記念式典

吉井川総合水防演習

(一社)岡山県法人会連合会
税制改正要望会議

岡山懸護國神社春季慰霊大祭

岡山市相撲連盟より優勝報告

京橋朝市

第49回雄神学区体育大会

フレスコボールシブカワカップ2023

第39回備前焼まつり

弘西サマーフェスティバル

矢掛の宿場まつり大名行列

南方地区三世交代交流餅つき大会

岡山学芸館高等学校
全国高校サッカー選手権大会優勝

統一地方選挙2023 自民党岡山県連会長として党公認候補を全力で応援



石井まさひろ プロフィール (役職)

現在の役職

〈参議院〉

- 参議院経済産業委員会委員
- 政治倫理の確立及び公職選挙法改正に関する特別委員会委員
- 行政監視委員会委員
- 情報監視審査委員会委員 (運営幹事)
- 参議院改革協議会 選挙制度に関する専門委員会委員

〈自由民主党〉

- 政務調査会副会長
- 参議院自民党政策審議会副会長
- 税制調査会幹事
- 地方行政調査会副会長
- 団体総局 財政・金融・証券関係団体副委員長
- 自民党岡山県支部連合会会長

令和3年10月6日～令和3年11月11日 第1次岸田内閣 経済産業副大臣 兼 内閣府副大臣 就任

令和3年11月11日～令和4年8月12日 第2次岸田内閣 経済産業副大臣 兼 内閣府副大臣 再任